



A field guide to
LOSSY

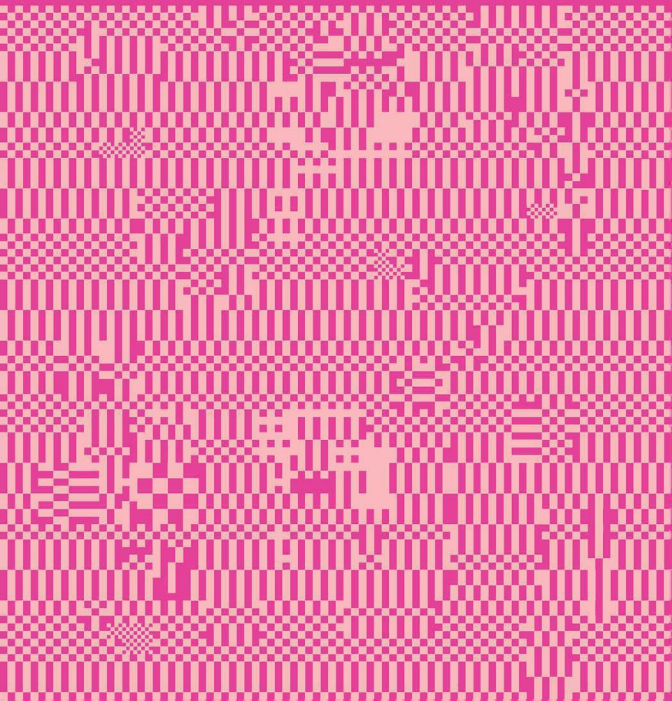


Table of Contents

2	Overview	
4	Setup	
6	Getting Started	
8	Controls	
14	Hidden Options	
18	Loss	→ 20 Modes
		→ 22 Packets
24	Filter	→ 23 Ideas
26	Verb	
28	Freeze	
30	Gate	
32	Customize	
34	Ramping	
36	External Control	
38	Bye	
40	Signal Flow	

Goodhertz

LossyはGoodhertzとのコラボレーションで届けられます。



電源: 9VDCセンターマイナス、400mA

Overview

Lossyはデジタルオーディオの圧縮や転送において発生する縮れ、ねじれ、縮小といった特別な劣化をキャプチャーしたデバイスです。

例えば、56kモデムでの音楽ストリーミング。

または、CD-RにリッピングされたMP3。

もしくは、2007年に流行ったケータイ動画。

ヘヴィに破壊され再構築されたデジタルオーディオ特有の、汚さ、厄介さ、美しさの全てをリアルタイムのコントローラブルなペダルに取めました。

オンデマンド・アーティファクト。



Lossyは3つのセクションに分けて考えられます。

オーディオを破壊し再構築するLossセクション (p18)。

アーティファクトを強調やシェイピングするFilterセクション (p24)。

Lossを助長、または滲ませるReverbセクション (p26) 。

特定のフォーマットや影響元を再現するものではありません。データ圧縮から発生するあらゆる音の可能性の探求です。そこには「正しい」も「間違い」も全てがあります。

親しみやすく、同時に何にも似ていない。

じゃあやってみよう。

Setup

Lossyをあなたの環境に馴染ませよう。あなたがギターペダルについて経験豊富なら、いくつかの項目は飛ばしても大丈夫です。

POWER

Lossyは400mA以上供給可能な9VDC センターマイナスの電源で動作します。

サプライにはこんなマークがあるはず:



I/O

Lossyはモノラル、ステレオ、モノラルトーステレオで使えます。デフォルトの設定で、モノカステレオどちらにも自動的に対応します。

モノイン、モノアウト



TS CABLE

ステレオイン、ステレオアウト



TRS CABLE

多くのステレオデバイスは2つのモノラルジャックを備えます。その場合は以下のようなY字のデュアルTSケーブルが必要です。



モノラル入力をステレオ出力へスプリットしたいなら、MISO dipスイッチをオンにしてください。

また特別なステレオ処理を行いたい場合は、SPREAD dipスイッチ(p32)をオンにしてください。

OPTIONS

Lossyにはあなたの体験をカスタマイズして微調整できるオプションがあります。全て知りたいなら、以下のページをチェックしてください。

- 隠されたオプション (p14)
- カスタマイズ (p32)
- Ramping (p34)
- 外部コントロール (p36)

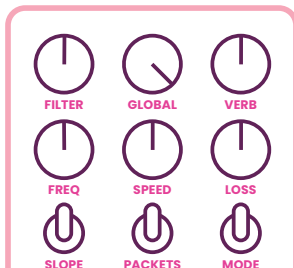
ややこしくてわからない? まず最初はdipスイッチは全てオフにしてスタートするのが良いでしょう。



OK, では始めよう。

Getting Started

まずはここから:
GLOBALは最大、
それ以外は中央に
セットしよう。



段々とLOSSを最大へ...



そしてSPEEDは最小へ。

気がつくと、そこは幽玄なアーティファクトで満たされた海。



異なるフィルター設定を試してみ、アーティファクトの異なるポイントを強調したり宥めたりしてみよう。



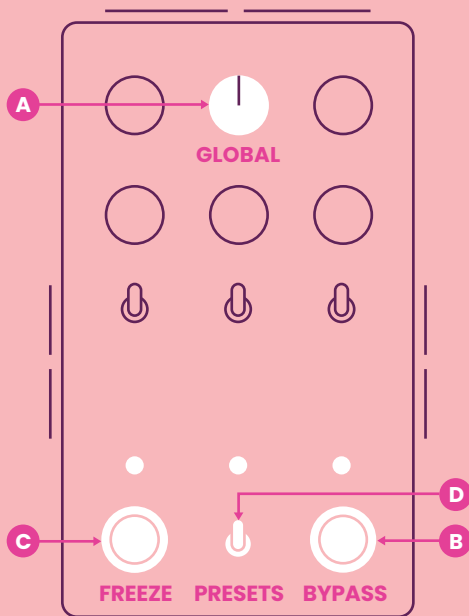
フリーズをオンにして、彷徨うスペクトルを貴方のパートナーに仕立て上げよう。

好みの雰囲気へ設定できたらGLOBALノブを下げてエフェクトの強度をメロウにしよう。GLOBALを最大で始めるのは、Lossyに慣れ親しんだり新しいプリセットを作るのに効率的な方法です。それぞれ何が変更されるのかを確認して、少しずつ好みのバランスへ合わせよう。



これはLossyのほんの一部。さっそく始めよう。

General Controls



Engage, increase, recall.

A

GLOBAL (RAMP)

MIXコントロールのかわりに、Lossyでのeffectの処理量を決定します。全てのエフェクトの強度や存在感を制御するとも言えます。Ramping(p34)が有効のときこのノブは役割が変わり、rampムーブメントのスピードの設定へと切り替わります。

B

BYPASS / GATE

☀️ タップでペダルをオンオフします。

🌱 ホールドでLossyのゲートを有効にします (p30)。

C

FREEZE / STATE

☀️ タップでフリーズエフェクトを有効にします。

🌱 ホールドでフリーズの状態を切り替えます (p28)。

D

PRESETS

トグルスイッチ右と左のポジションへプリセットを保存し、いつでも呼び出すことができます。中央はライブ設定で現在のセッティングを反映します。プリセットを保存するには、保存したい方向のフットスイッチを3秒長押しし、押しながもう一方のフットスイッチを更に3秒長押しします。保存に成功するとLEDが点滅します。



C + B

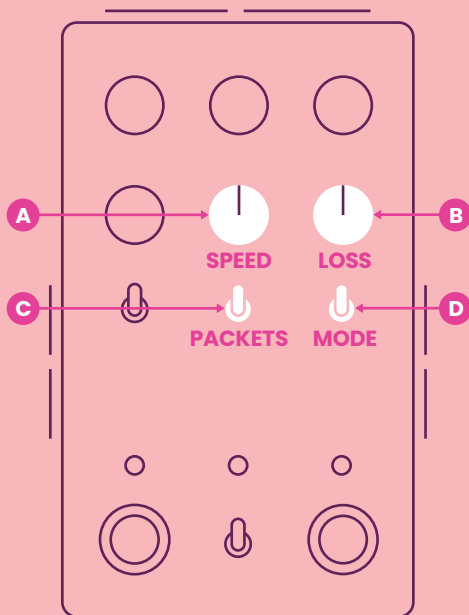


HOLD

HIDDEN OPTIONS

両方のフットスイッチを長押しすることで隠されたオプションにアクセスできます。p14を参照ください。

Loss Controls



Select, deconstruct, adjust.

A

SPEED

LossとPacketエフェクトのレート、またフリーズのアップデートレートを制御します。遅いスピードでは連続的な滲みとパケット間でスペースが発生し、速いスピードではガビガビ、ごちゃごちゃ、不明瞭、文字化けのような質感になります。

B




LOSS

LossとPacketエフェクトのデプスを制御します。エフェクト自体の強度と、影響される周波数帯域を同時に変化させます。

C

PACKETS


Packetのモードを選択します (p22)。

-  **PACKET REPEAT** - スペースをシグナルフリーズを伴うパケットロスで埋めます。
-  **CLEAN** - パケットエフェクトを無効にします。
-  **PACKET LOSS** - 状態の悪いコネクションによるスキップやスペースの発生を再現します。

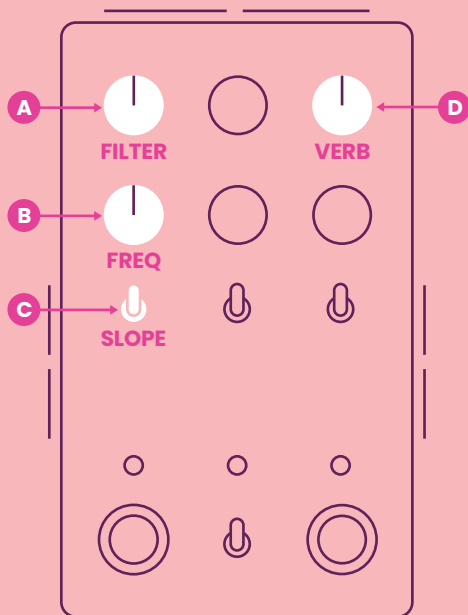
D

MODE

Lossのモードを選択します (p20)。

- INVERSE** - スタンダードモード + オーディオを大幅に削減。
- STANDARD** - 低ビットレートのデジタルMP3を彷彿とさせる、状態の悪いデータ圧縮。
-  **JITTER** - 不完全なクロッキングによる、不正確な位相とタイミング。

Filter and Verb Controls



Cut, sweep, expand.

A

FILTER

フィルターを制御します。最小ではフィルタリングは無し、ノブを上げていくと少しずつフィルタリングが発生し、特定のレンジのみにシグナルが集中するよう、帯域を狭めていきます。

B

FREQ

センターフリークエンスを決定し、フィルターのレンジを制御します。

C

SLOPE

フィルターのスロープを設定します。

- 6dB - マイルド、標準的なトーンノブに近い。
- 24dB - バランス、若干のレゾナンス。
- 96dB - 強烈、ヘヴィな強調。

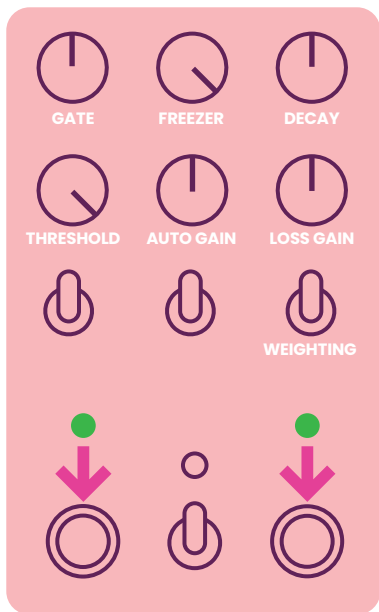
D

VERB

リバーブのウェット/ドライミックスを設定します。ALL WET dipスイッチが有効のとき、このコントロールはトゥルーアナログミックスの制御となり、Lossyで処理されたシグナルとアナログの入力シグナルのブレンド具合を設定します (詳細はp33)。

Hidden Options

LEDが緑色になるまで両方のフットスイッチを長押しすると、隠されたオプションへアクセスできます。



(上記のセッティングは各オプションのデフォルト設定です)



GATE

Lossyのゲートのカットオフを設定します。ゲートはバイパススイッチ長押しで有効になります。ゲートが有効なとき、このスレッシュولدより静かなオーディオは全てミュートされます。



FREEZER

ライブ信号とフリーズした信号のバランスを設定します。FREEZEが有効なときのみ適用されます (p28)。



DECAY

リバーブのサイズ/長さをセットします。



THRESHOLD

内蔵リミッターのスレッシュولدを設定します。スレッシュولدが低いほど、よりリミッティングされます。リミッターはLossyの異なるモードでも出力レベルを一定に保ちつつ、微細なキャラクターを楽しむのに役立ちます。信号が静かになりすぎる場合もあるので、LOSS GAINコントロールで補うように設定すると良いでしょう。

Hidden Options - Continued



**AUTO
GAIN**

AUTO GAIN

Lossモードで自動的なゲイン補正を段階的に発生させます。Lossモードは周波数スペクトルを操ることで効果を生むため、このゲイン補正は感じられる音量を一定に保つのに役立ちます。



**LOSS
GAIN**

LOSS GAIN

ウェット信号全体のゲインをカット、または最大36dBまでブーストします。

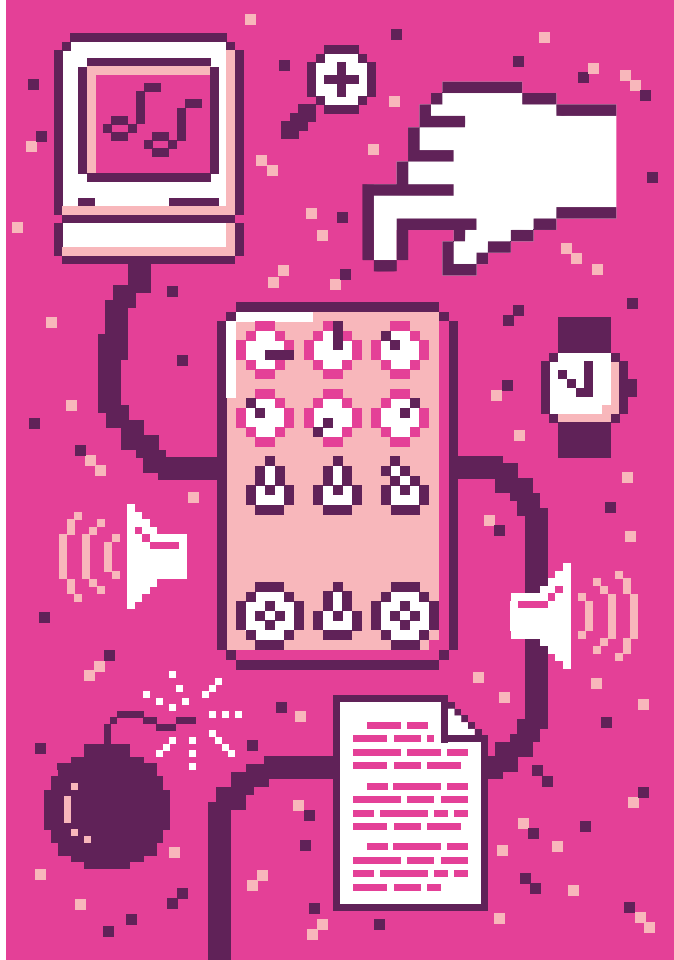


WEIGHTING

比重を置く周波数帯域を、バランスよく均等に鳴らすか、または心理音響モデル (Psychoacoustic Model) で決定するかを切り替えます。特定の周波数を他の周波数よりも優先して聴かせられます。

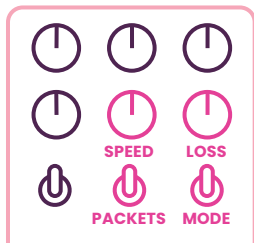


RESET - 全ての秘密のオプションをデフォルト設定へ戻したい場合は、プリセットグルを左へ倒して中央に戻す、これを3回繰り返します。LEDが点滅したら、両方のフットスイッチを押してリセットを確定します。



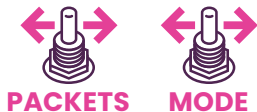
Loss

全てが始まる場所。

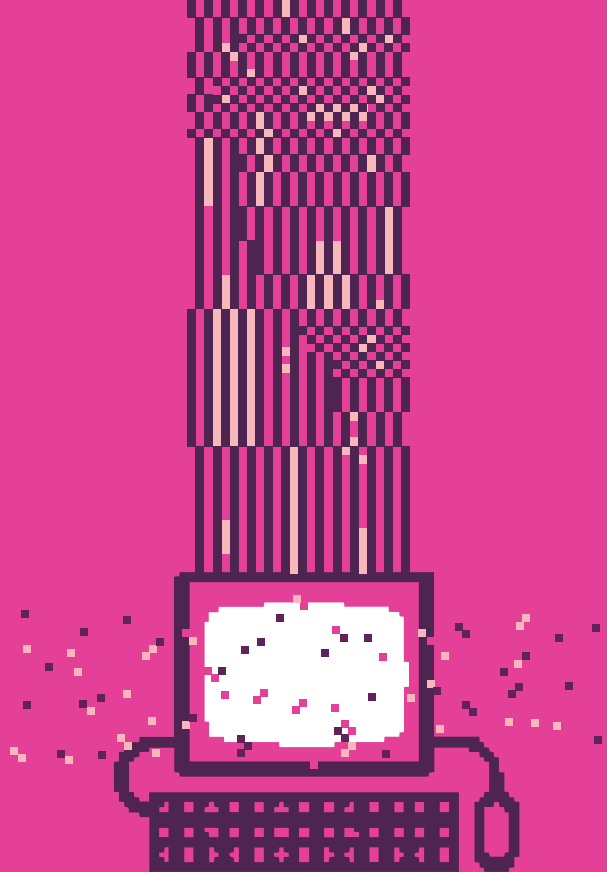


Lossセクションは貴方のオーディオ入力を分解して分析。ユニークな方法で劣化を適用することで、印象的なハーモニーやアーティファクトの流れを引き出します。

2つの全く異なる要素を制御して組み合わせて...



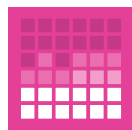
ノブを使って非常にフレキシブルにコントロールできます。



Loss Modes

Lossセクションには異なるサウンド、フィーリング、レスポンスを持つ3つのモードがあります。

各モードは周波数スペクトル上の狭い範囲に影響を与えるところから始まり、LOSSノブを上げるに連れて影響する範囲が広がっていきます。



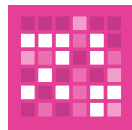
■ STANDARD

低ビットレートのデジタルMP3を彷彿とさせる、情報が損失したデータ圧縮。チャイミイなスペクトラル・ハーモニクスが満たすダークなサウンド。



□ INVERSE

Standardのサウンドを反転し全てを削ぎ落としてプレイバック。より明るく、より薄く、よりスカスカ、ふわふわした羽のような動き。



■ PHASE JITTER

不完全なクロッキングによる位相のズレや不正確なタイミングのシミュレーション。デジタルの滲み、ノイズ、不規則性を求めるときにピッタリ。

これらのデータ圧縮プロセスはオーディオのラウドネスを大きく変化させる可能性があるため、以下の3つの隠されたオプションが役立ちます。



AUTO GAIN

自動的にゲインを変化させ、SPEEDやLOSSノブの異なる設定や、LOSSモードの切り替えにおいて一定のボリュームを保つよう動作します。



THRESHOLD

ウェット信号全体へリミッターを適用します。AUTO GAINはLOSSモードのサウンドにのみ適用されますが、こちらはペダル全体へ適用されます。



LOSS GAIN


ウェット信号全体のボリュームを設定します。リミッターで下がってしまう出力ボリュームを補うのに役立ちます。

これらは一度設定すれば忘れてしまうような地味な機能ですが、貴方のセットアップに合わせていつでも調整が可能なことをお忘れなく。ペダルの電源をオフにしても、設定内容は保たれます。詳細はp14を参照ください。

Packet Modes

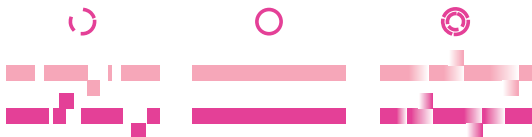
Packetモードのエフェクトはエラーの発生、不規則な変化、またはLOSSエフェクトに更に動的な雰囲気を与え、付与するものと考えられます。

PacketモードとLossモードのコントロールは同じノブで行われます。

 **PACKET LOSS** - オーディオにランダムな欠け、一瞬の無音の瞬間を生み出します。低クオリティのコネクションによるスキップやスペースの発生を再現します。

 **CLEAN** - Packetエフェクトを無効にし、より安定したサウンドとなります。

 **PACKET REPEAT** - Packet Lossと同じオーディオですが、無音の代わりにスペースがスペクトルの滲みで満たされます。



SPREAD(p32)が有効のとき、Packetエフェクトは左右の出力をランダムに飛び回り、ドラマチックなステレオの動きを演出します。

Loss Ideas



BAD DOWNLOAD



Lossyの冒険のスタート地点。囁き、弾ける泡といったアーティファクトで満たされる、リップングされたMP3サウンド。



THROUGH THE PHONE



遥か向こう、ドリーミィなコピーのコピーが崩れて流れていく。GATE機能を有効、カットオフを調整して最適なフィーリングに合わせよう。



JITTERBUG



入力信号をスペクトルフリーズの爆発を伴うグラニュラー状の流体へ変換。ステレオで使用がベスト。

Filter

Lossyは周波数スペクトラムを大胆にシェイプ可能なフレキシブルなフィルターを搭載しています。

フィルターセクションは3つのパートで構成されるバンドパスフィルターです。

FILTER

フィルターの帯域幅を設定します。

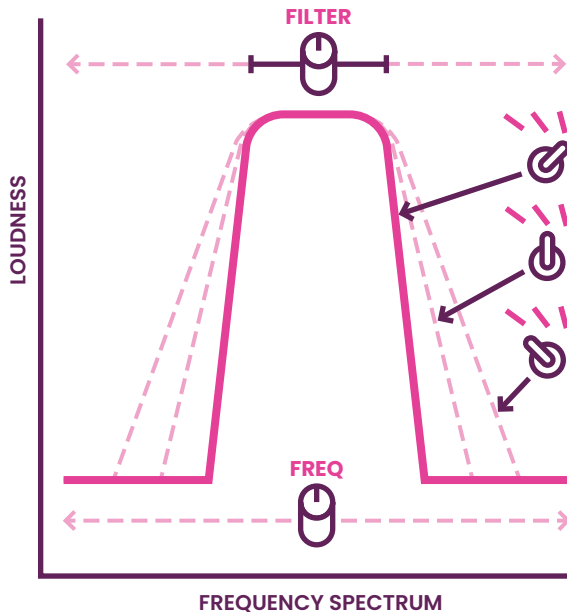
FREQ

フィルターの中心周波数を設定します。

 フィルターのスロープを設定します。

INVERT dipスイッチ(p33)をオンにするとフィルターを反転させることができます。このときはフィルターされる周波数帯のみを出力する、バンドリジェクトフィルターとして動作します。例えば中音域をスクープしたり、ある帯域に空洞を作るのに効果的です。

フィルターはLossyのサウンドで重要な領域を占めています。例えばエフェクトを制限して過激かつ制御されたフィーリングを作ったり、特定の周波数帯域を強調したり、フィルタリングされたりバープだって作り出せます。



Verb

Lossyのリバーブは、デジタルであることを強調したユニークなキャラクター。ウォームな残響、パチパチと弾けてすばむように拡散する独特のディケイが特徴です。空間をリアルに再現するのではなく、90年代初めにミュージシャンたちに愛されていたデジタルリバーブから着想を得ています。



VERB

VERBノブはシンプルにミックスを制御します。

隠されたオプションでディケイを設定できます。微細な拡張から、不自然なまでのロングリバーブまで。



PRE/POST

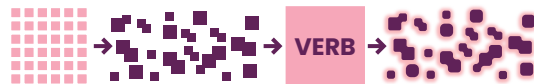
PRE/POST dipスイッチでシグナルフローでのリバーブの位置を変更。Lossyの各様相に影響を与える、ダイナミックな変化を生みます。

VERB PRE



デフォルト設定。リバーブはシグナルフローの先頭に配置されます。リバーブがLossyの各パートへ送られることで、エフェクトが刺激され、効果が高まります。まとまりと広がりを感じさせる、心地よい劣化となります。

VERB POST

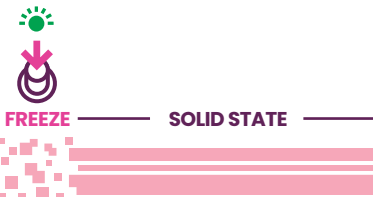


PRE/POST dipスイッチ(p33)でシグナルチェーンの後ろにリバーブを配置します。Lossyの最後にリバーブがかかるため、Lossyの他のパートに影響されない、確実にフェードアウトする伝統的なリバーブ効果が得られます。全てを調和させ、PACKETトグルの不規則な動きを和らげ、滲ませる演出も可能です。

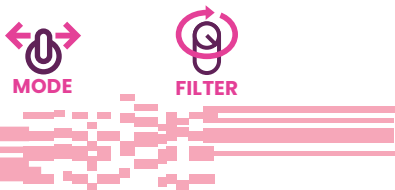
Freeze

Lossyにはユニークかつ多用途なフリーズエフェクトが用意されています。

まずは一般的なフリーズエフェクトとして使ってみよう。左フットスイッチ長押しで現在のサウンドをアンビエントパッドのように無限に引き伸ばします。



ナイスかつシンプル。フリーズしたサウンドの上で更にプレイして、Lossyの様々なモードやコントロールで加工も可能です。異なるLOSSモードやFILTER設定も試してみてください。

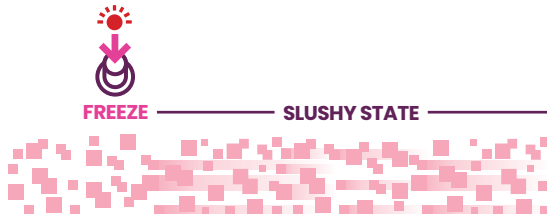


でも、これだけじゃない。

フリーズは時間とともに更新され、入力オーディオの移り変わるスペクトラルコピーとしても使えます。例えば新しいコードなど、フリーズのサウンドを「補充」するようにプレイしたり、ライブ・エフェクトのように動的な変化を与える動作も可能です。

私達はこれをSLUSHY STATEと呼びます。通常は左フットスイッチのタップでSLUSHY STATEが有効になりますが、LATCH dipスイッチ(p32)がオンだと、長押しでSOLIDとSLUSHY STATEを切り替わるように動作します。

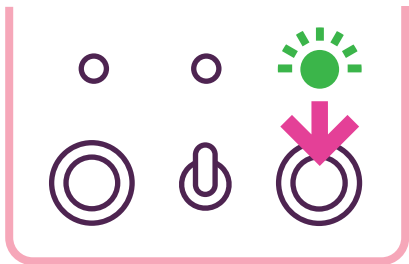
SPEEDノブでフリーズの更新の速さを設定します (同時にPACKETとLOSSモードも制御されます)。



デフォルトでは、一度フリーズを有効にすると完全にオンになり、これは特にSLUSHY STATEでは興味深い動作となります。または隠されたオプションのFREEZER(p15)を設定することで、ライブのオーディオ入力をフリーズヘブレンドすることも可能です。

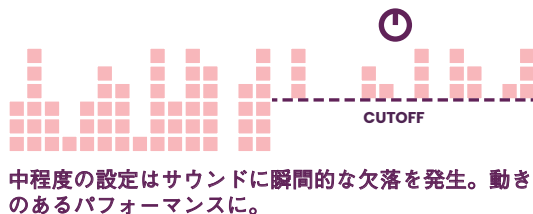
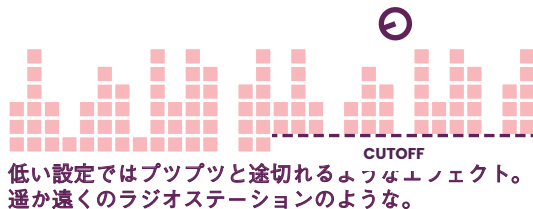
Gate

Lossyのバイパススイッチを長押しするとgate機能が有効になります。



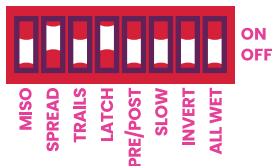
ゲートが有効のとき、カットオフより下のオーディオは全てミュートされます。シンプルですがミックスへダイナミックなオーディオの損失レイヤーを作りたいときに有効です。

ゲートはカットオフの設定により様々な雰囲気の出演することができます。



異なるカットオフ設定を試して、貴方の楽器とセットアップに何が可能なのかを探ってみてください。両方のフットスイッチを落ちながらFILTERINGノブを調整すると、ゲートのカットオフを変更できます。

Customize



Lossyの上面、ピンクのdipスイッチでLossyの機能や設定を貴方のセットアップに合わせてファインチューンできます。

MISO

モノイン、ステレオアウト。モノラル信号をステレオ信号へ分割できます。

SPREAD

ムーブメントと広がりのあるステレオイメージを生む、ステレオ処理を有効にします。Packetモードをランダムに左右交互に切り替え、更にVERBノブを上げるにつれて残響が左右に拡散します。

TRAILS

ペダルをバイパス時にLossyのエフェクトが自然にフェードアウトします。

LATCH

各フットスイッチのホールド時の動作を*モーメンタリー*からラッチングへ切り替えます。一度ホールドすると、再度ホールドするまで機能が有効になります。

PRE/POST

シグナルチェーン上でのリバーブセクションの配置を*前*か*後*で配置します(p27)。

SLOW

プラグイン版Lossyのクラシカルなサウンド。より大きく、ダークで、スローで、レイテンシー有り。

INVERT

フィルターセクションを*バンドパス*からバンドリジェクトへ切り替えます(p24)。

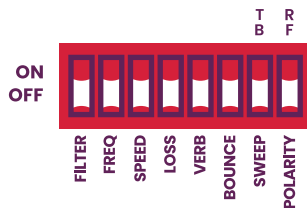
ALL WET

ライブ・ミュージシャンのため、ペダル版だけに特別にデザインされたスペシャルモード。通常Lossyは極小のレイテンシーが発生するデジタル・ドライ信号を使用します。ALL WETをオンにするとトゥルーアナログのドライスルーへ変更されます。このときリバーブは常に100%ウェット、VERBノブはアナログミックスのコントロールとなります。

出力からドライ信号を取り除きたい場合(wet/dryセットアップなどで有効です)、FREEZEフットスイッチを長押ししながら電源を入れてください。この設定は電源を落としても記憶されます。

*マークはデフォルトの設定です。

Ramping



RampingはLossyのノブをオートメーションさせる機能です。1回だけの動き(ramp)または連続の動き(bounce)から選択できます。

まずはbounceから始めるほうがわかりやすいでしょう。ノブ自身を自動的にモジュレーションさせるイメージです。



1. BOUNCEを有効にする。
2. 制御したいノブを選択(複数可)。



SWEEP



LOSS



RAMP

3. スウィープ方向を設定。
4. スピードを設定。



LOSS



これでアーティファクトとハーモニクスが移り変わり続け、エフェクトに躍動感とより豊富なニュアンスを与えます。ノブ自身が自動的に決められた範囲を動くイメージです。ノブの位置はムーブメントの最大または最小位置(SWEEPの設定により異なります)となるため、重要なセッティングです。

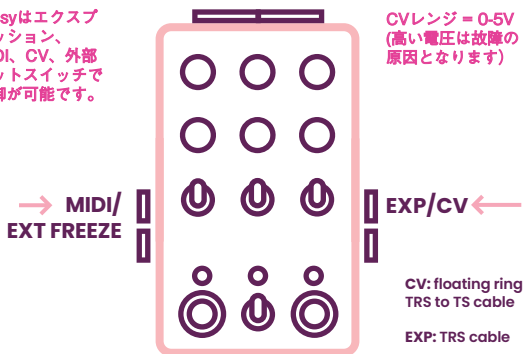
Rampは同じようなコンセプトですが、ペダルをオンにしたとき1度だけムーブメントが起きます。ノブでriseまたはfallポジションを決め、パラメータはその位置を維持します。Lossyをオンにするときに、波のような動きをサウンドへ付加できます。

dipスイッチの入門編マニュアルではより詳しく解説しています。

rampingは対応するノブのdipスイッチがオンになると同時に動作を始めます。この時点でGLOBALノブは、rampingスピードのコントロールとなります。左フットスイッチを押しながらノブを回すことで、rampingが有効時もGLOBALを調整可能です。

External Control

Lossyはエクスプレッション、MIDI、CV、外部フットスイッチで制御が可能です。

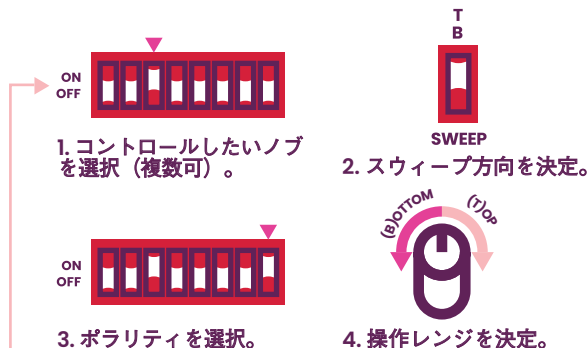


Lossyのノブはエクスプレッション、またはCVで制御することができます。

MIDIを使えば、クロックシンク、隠されたオプション、dipスイッチを含むあらゆる要素をコントロールできるようにします。

エクスプレッションまたはCVへパラメーター制御を割り当てるには、rampingと同様にペダル上部のdipスイッチで設定します。制御したいパラメーターを有効にしたら、ペダルはエクスプレッション信号かCVを自動的に検知し、コントロールが割り当てられます。

*何も接続がない場合はrampingへ割り当てられます。



エクスプレッションまたはCVを接続しdipスイッチで何も割当がない場合は、GLOBALノブを制御します。

MIDI接続にはMIDI信号を1/4インチTRSジャックへ変換するChase Bliss MIDIBOXなどの機器が必要です。MIDIについての詳しい情報はMIDIマニュアルを参照ください。

MIDIジャックはFREEZEをコントロールする外部フットスイッチを接続できます。デスクトップでの使用時は便利です。標準的なノーマリーオープンモーメンタリースイッチを接続するだけで自動的に割り当てられます。



BYE

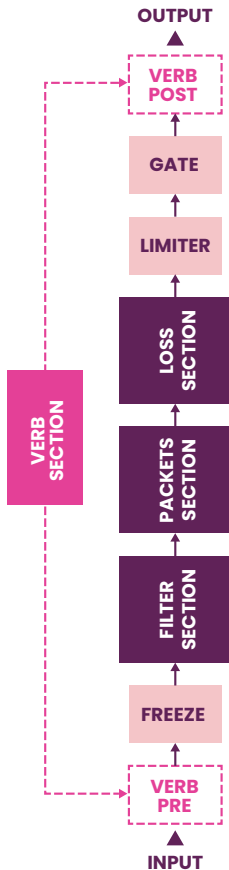
これでLossyのマニュアルはおしまい。
一緒に崩れ落ちよう。

もっと知りたい場合は
help@chasebliss.com
または国内代理店まで。

いつでもお助けします。

Have fun!

LOSSY SIGNAL FLOW



ALL WETモード時は
トウルレーアナログドラ
イスルーになり、
VERBノブはdry / wet
のミックスコントロー
ルとなります。詳細は
p33を御覧ください。

